令和元年度　学校だより　７月号

ウエスト フレッシュウィンド

（西姶良の爽やかな風）

姶良市立西姶良小学校

夏休みに様々な体験活動を

校長　　髙瀬　薫

６月28日に降った雨は凄まじいものでした。市内の学校によっては自宅待機を余儀なくされたところもありました。しかし、西姶良小学校は高台にあり、避難所になるくらい安全な場所です。学校に安全に来さえすれば安心です。これからも大雨による同じようなケースがあると思いますので、まずは子どもたちの安全を第一に考えていきたいと考えています。

さて、学校では一学期のまとめをすると同時に、夏休みの生活の在り方等の指導を行っています。保護者や地域の皆様におかれましては、先ほど申し上げた、自然災害への備えをお願いいたします。また、水難事故や交通事故にも気を付けなければなりません。児童が安心・安全に過ごすことができますよう見守り、そして御指導下さいますようお願いいたします。

最後に、夏休みは様々な体験活動ができる期間でもあります。豊かな体験をした子どもたちは、学力が上がりたくましい心が育ちます。困難にぶち当たっても立ち向かう気力と忍耐力が身に付くと思います。何事にも前向きに挑戦するという気持ちで、子どもたちのやる気を引き出して下さい。夏休み期間だからこそできる自然体験や生活体験をお願いいたします。

子どもたちの感性は豊か

先日、６年生の子どもたちに短歌を作ってもらいました。いちき串木野市の歌人萬造寺斉顕彰「第３回黎明の地ふるさと短歌大会」に出品するためです。子どもたちが作った作品を見ると、感性の豊かさにびっくりします。この感性を伸ばすことができたら最高に素晴らしいと思いました。その作品の一部を紹介します。

○帰り道　ジリジリ熱い　登り坂　重い足あげ　家に着き寝る　竹下　陽
○帰宅時に　桜島見る　日課かな　今日のきげんは　どうですか　榮　ののか
○いつまでも　笑顔あふれる　ふるさとや　伝統受け継ぐ　我が西姶良　下玉利　幸奈
○学校の　窓から見える　桜島　見ているだけで　元気もらえる　友野　さやか
○ふるさとの　登校中の　子どもたち　言うことなしの　明るいタウン　佐藤　紅葉

どうでしょう。子どもたちの感性豊かさが伝わり素晴らしいですね。テーマが「ふるさと」ですので、31文字の中に思いを詰め込まなくてはなりません。それに、子どもたちがふるさと「西姶良」を好きなことがよく分かります。

子どもの人権を守る

「子どもの心を開くのは難しい」「子どもは本音を言わないものだ」など、いろんな理由付けをして行動しないままの私たちがいる。

そんな私たちを見て、子どもたちは進むべき道を自信をもって歩んでいけるだろうか。人権教育に取り組む傍らには「一人一人の子どもを大切にする」という美しい言葉とともに皆で伸び合おうと躍動する子どもたちの生の姿がなくてはいけないのではないか。

まず、全ての子どもの関わりから言わなくても、気になるあの子どもとの関わりや、いや、あの子どもの揺れている一つの思いを出発点に私たちの歩みを進めていこう。【県人権教育研修資料：なくそう差別　築こう明るい社会】より

私たち大人は子どもたちが何に思い悩んでいるのかをしっかりと受け止めなくてはいけません。そして、その子に寄り添うことが大切です。どの子も幸せになる権利があります。そのために次の三つを基本姿勢にしましょう。

・見つめる（つぶやき・仕草など）
・思いをめぐらす（行動の背景）
・向き合う（子どもと一緒に）

御家庭の子どもの様子に少しでも心配事があったら学校に相談して下さい。